

仙台市高齢者保健福祉計画
策定のための実態調査報告書
【高齢者一般調査】

令和5年3月

仙台市健康福祉局保険高齢部高齢企画課

目 次

第1章 調査の実施概要	3
1. 調査目的	3
2. 調査概要	3
3. 調査の回答状況	4
4. 報告書を読む際の留意点	4
第2章 調査結果の分析	7
1. 調査対象者の属性	7
(1) 性別【単一回答】	7
(2) 年齢【単一回答】	8
(3) 要支援等の認定状況について【単一回答】	10
2. 家族や生活状況について	13
(1) 家族構成【単一回答】	13
(2) 介護・介助の必要性【単一回答】	16
(3) 介護・介助が必要となった主な原因【複数回答】	19
(4) 主な介護者・介助者【複数回答】	20
(5) 経済的な暮らしの状況【単一回答】	21
(6) 住まいの状況【単一回答】	24
3. からだを動かすことについて	26
(1) 階段での手すり等の利用状況【単一回答】	26
(2) 立ち上がり動作について【単一回答】	29
(3) 歩行について【単一回答】	32
(4) 転倒の経験について【単一回答】	35
(5) 転倒に対する不安について【単一回答】	38
(6) 外出頻度について【単一回答】	42
(7) 外出の目的について【複数回答】	46
(8) 昨年と比較した外出頻度について【単一回答】	49
4. 食べることについて	53
(1) 身長・体重	53
(2) 固いものの食べにくさについて【単一回答】	56
(3) 歯の数と入れ歯の利用状況について【単一回答】	59
(4) 人と食事をともしる機会について【単一回答】	62
5. 毎日の生活について	65
(1) 物忘れについて【単一回答】	65
(2) 外出について【単一回答】	69

(3) 食品・日用品の買物について【単一回答】	72
(4) 食事の用意について【単一回答】	75
(5) 請求書の支払いについて【単一回答】	78
(6) 預貯金の出し入れについて【単一回答】	81
6. 地域での活動について	84
(1) 会・グループへの参加頻度について【単一回答】	84
(2) 収入のある仕事への意向【単一回答】	108
(3) 今後、取り組んでみたい社会参加活動について【複数回答】	111
(4) 地域活動への、参加者としての参加意向について【単一回答】	112
(5) 地域活動への、企画・運営（お世話役）としての参加意向について【単一回答】	115
(6) 参加したい通いの場（サロン、茶話会、サークルなど）について【複数回答】	118
7. たすけあいについて	121
(1) 心配事や愚痴を聞いてくれる人【複数回答】	121
(2) 心配事や愚痴を聞いてあげる人【複数回答】	123
(3) 看病や世話をしてくれる人【複数回答】	125
(4) 看病や世話をしてあげる人【複数回答】	127
(5) 地域で安心して暮らすために必要だと思うこと【複数回答】	129
8. 高齢者を支援する仕事やボランティア活動について	133
(1) 高齢者を支援する仕事やボランティア活動への意向【単一回答】	133
(2) 高齢者を支援するボランティア活動の内容について【複数回答】	136
9. 健康について	139
(1) 健康状態【単一回答】	139
(2) 幸福度【単一回答】	142
(3) ゆうつ感【単一回答】	145
(4) 物事への興味関心【単一回答】	148
(5) 喫煙状況【単一回答】	151
(6) 治療中、または後遺症のある病気【複数回答】	154
10. 健康づくりについて	155
(1) 健康づくりへの取り組み状況について【単一回答】	155
(2) 健康づくりの取り組み内容【複数回答】	158
(3) 今後、仙台市に力を入れて欲しい取り組み【複数回答】	161
11. 認知症について	165
(1) 認知症の症状の有無又は家族に認知症の症状がある人の有無【単一回答】	165
(2) 認知症に関する相談窓口を知っているか【単一回答】	168
(3) 認知症に対するイメージ【単一回答】	171
(4) 認知症になっても安心して生活するために必要なこと【複数回答】	175
12. 在宅で暮らしていくために必要なことについて	179

(1) 在宅で暮らしていくために必要なこと【複数回答】	179
1 3. 地域包括支援センターの利用について	182
(1) 地域包括支援センターの認知度【単一回答】	182
(2) 地域包括支援センターに期待すること【複数回答】	187
1 4. インターネットやスマートフォン等の活用について	191
(1) スマートフォン、パソコンの活用状況【複数回答】	191
(2) スマートフォン、パソコンを一層活用するために必要なこと【複数回答】	194
1 5. 高齢者福祉サービスの利用意向について	197
(1) 今後利用してみたい(引き続き利用したい) 高齢者福祉サービス【複数回答】	197
1 6. 終活について	200
(1) 今後の「終活」について【単一回答】	200
(2) 終活の内容【複数回答】	203
1 7. 新型コロナウイルス感染症による自粛期間の影響について	208
(1) 新型コロナウイルス感染症による自粛期間の影響【複数回答】	208
1 8. 仙台市への意見・要望について(自由記述)	211
第3章 生活機能評価等に関する分析	223
1. 機能別リスク該当者割合の分析	223
(1) 運動器	223
(2) 閉じこもり	226
(3) 転倒	229
(4) 低体重	232
(5) 認知	235
(6) うつ	238
(7) 手段的自立度(IADL)	241
資料編 調査票	247

第1章

調査の実施概要 (高齢者一般調査)

第1章 調査の実施概要

1. 調査目的

仙台市高齢者保健福祉計画策定のための実態調査（高齢者一般調査）は、65歳以上の高齢者の生活実態や、高齢者福祉サービスの利用動向及び今後の利用意向等を把握し、次期高齢者保健福祉計画（計画期間：令和6年度～令和8年度）の策定にあたっての基礎資料とすることを目的として実施しました。

2. 調査概要

調査対象者	令和4年8月末の時点において、仙台市介護保険被保険者資格を有している一般高齢者、介護予防・日常生活支援総合事業対象者、要支援者(約230,000人)から調査区域(18か所)ごとに無作為抽出した方	11,700人
調査方法	郵送方法にて実施(調査対象者に調査票を郵送し、記入後の調査票を同封の返信用封筒にて返送)	
調査基準日	令和4年10月1日	
調査期間	令和4年10月14日～令和4年11月4日	
調査票の設問内容と項目数	1 調査対象者の属性	問1～3
	2 家族構成や生活状況について	問4
	3 からだを動かすことについて	問5
	4 食べることについて	問6
	5 毎日の生活について	問7
	6 地域での活動について	問8
	7 たすけあいについて	問9
	8 高齢者を支援する仕事やボランティア活動について	問10
	9 健康について	問11
	10 健康づくりについて	問12
	11 認知症について	問13
	12 在宅で暮らしていくために必要なことについて	問14
	13 地域包括支援センターの利用について	問15
	14 スマートフォン・パソコン等について	問16
	15 高齢者福祉サービスの今後の利用意向について	問17
	16 終活について	問18
	17 新型コロナウイルス感染症の影響による変化について	問19
	18 仙台市への意見・要望について(自由記述)	問20

※調査票は資料編に掲載しています。

第1章 調査の実施概要

3. 調査の回答状況

調査票区分	配布数	有効回収数	有効回収率	集計対象数 [※]
高齢者保健福祉計画策定のための実態調査	11,700 人	8,024 人	68.6%	7,926 人

※有効回収数とは、郵送による回答を収受した数で、そのうち「死亡」、「障がい等により回答できない」、「仙台市外に転居」等の方を除いたものを集計対象者数としています。

調査区名	回答数	%
五橋・上杉・木町通・花京院	451	5.7
双葉ヶ丘・葉山・台原	419	5.3
国見・国見ヶ丘・桜ヶ丘	430	5.4
大沢広陵・あやし・南吉成	420	5.3
東仙台・宮城野・榴岡	439	5.5
小松島・燕沢・鶴ヶ谷	448	5.7
岩切・高砂・福田町	435	5.5
河原町・大和蒲町・遠見塚	443	5.6
六郷・沖野・七郷	431	5.4
長町・郡山・富沢	446	5.6
愛宕橋・八木山・西多賀・山田	432	5.5
西中田・袋原・四郎丸	456	5.8
茂庭・秋保	419	5.3
泉中央・寺岡・高森	435	5.5
将監・松森・向陽台	452	5.7
南光台・八乙女	447	5.6
虹の丘・加茂・長命ヶ丘	460	5.8
根白石・南中山	458	5.8
無回答	5	0.1
全体	7,926	100.0

※回答の構成比%は、(調査区の回答数) / (全体の回答数) を示しています。

4. 報告書を読む際の留意点

- ① 図表中の n (Number of cases の略) は、設問に対する回答者数のことであり、質問によって異なる場合があります。
- ② 回答の構成比は百分率 (%) であらわし、小数点第 2 位を四捨五入して算出しています。従って、単一選択式の設問においては、回答比率を合計しても 100%にならないことがあります。また、回答者が 2 つ以上の回答をすることができる多肢選択式の設問においては、各設問の回答数 (n) を基数として算出するため、全ての選択肢の比率を合計すると 100%を超える場合があります。
- ③ 集計表や図では、選択肢の語句を一部簡略化してあらわしている場合があります。